

ECGプロセッサ

SP-2000

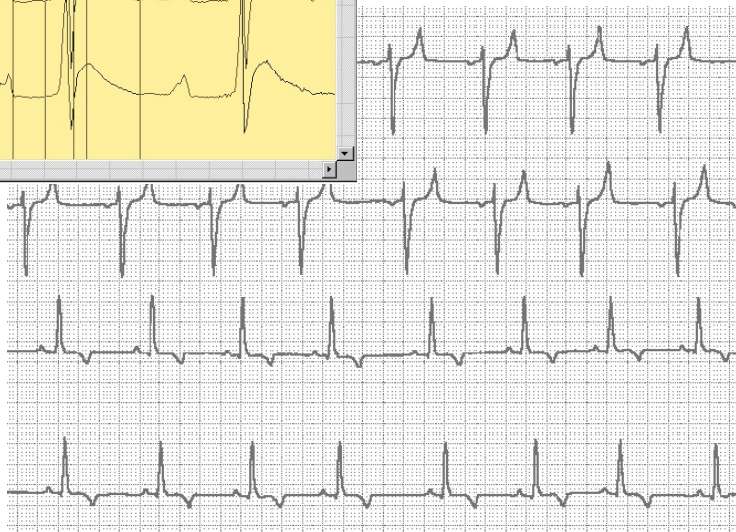
ラット、マウス・・犬・動物用心電図計測システム

操作は簡単、パソコンとテレメータ、ポリグラフ、心電計を接続するだけ
ラット、マウスから犬まで、誰でも測れる、自動計測
波形と計測値はレーザープリンタに印刷
パーソナルな実験動物用心電図計測システム
長時間連続記録、連続全心拍の測定可能



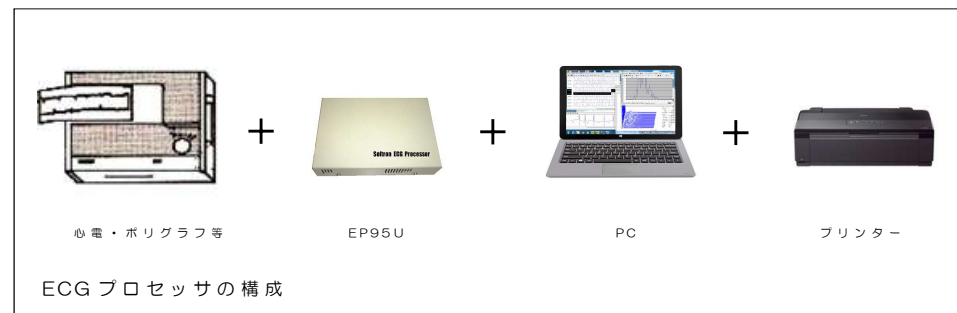
実験中の全データを記録可能
連続記録した任意の箇所を指定し
再解析も可能

オプションソフトで
不整脈解析可能
心拍変動解析
連続全心拍の解析可能



ECGプロセッサSP2000の特徴

- 1 ラット、マウスから犬、猿、・・・の心電図波形を、計測
(最大1000心拍までの波形を計測)
- 2 パソコンとポリグラフ、データレコーダ、モニター、心電計を接続してECGを入力、計測
- 3 リアルタイムに波形をモニターしながら、計測
- 4 編集機能で、記録した波形を、拡大し、測定点(Pの始点等)を指示して、再計測可能
- 5 プリンターにより、波形と結果を出力
- 6 波形と計測値を、ディスクに保存し、すばやい情報の分析が可能。
- 7 2CH(I,II誘導)波形から3CH(6誘導 I,II,III,AV_R,AV_L,V_F)の解析可能。
- 8 ラット、マウスでSTの解析が可能
- 9 連続記録可能、最大20拍の連続解析可能



ECGプロセッサ EP95-の仕様

- 1 ECGプロセッサインターフェース (EP95U-2, 4, 8)
- 2 信号入力ケーブル (2, 4, 8CH)
- 3 パソコン本体とEP95を接続

通常は心電計には信号入力ケーブルの標準プラグでストレートに接続。
ポリグラフ、データレコーダ等には、付属の変換アダプターを使用。

サンプリング	可変 (最大2000Hz)
アナログ入力	±10V (標準), ±5V, ±1V
チャンネル数	1~8
分解能	12Bit A/D

動作環境

Windows2000, Xp, 7, 8, 10が動作する機種で、USBの付いたパソコン

計測項目

心拍数、QTc、AXIS
波高：P、Q、R、S、ST、T
時間：PR、QRS、PD、QT

株式会社ソフトロン

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-45-4
TEL03(3312)3432 FAX03(3312)3403
<http://www.softron-tokyo.co.jp>